

平成31年1月7日

各位

日本ダイカストマシン工業会
技術セミナー実行委員会委員長

第19回 日本ダイカストマシン工業会 技術セミナーのご案内 ～ ダイカスト製造と設備に係る最新技術 ～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当工業会では毎年ご高評を頂いております技術セミナーを関連業界団体様の協賛を得て今年度も開催することとなりました。

時節柄ご多忙とは存じますが、幅広い関係者の皆様のご参加をお待ち致しております。

敬具

- ・日 時 平成31年3月15日（金）10：00～16：25
- ・会 場 機械振興会館 6階66－67号室
東京都港区芝公園3－5－8 機械振興会館
- ・参加費 主催団体及び協賛団体会員 15,000円 / 非会員 20,000円



東京メトロ 日比谷線 神谷町駅（徒歩8分）
都営地下鉄 三田線 御成門駅（徒歩10分）
都営地下鉄 大江戸線 赤羽橋駅（徒歩10分）
都営地下鉄 浅草線 大門駅（徒歩15分）
JR 浜松町駅（徒歩17分）

※機械振興会館は、平日に限り神谷町駅より無料送迎バスを運行しております。詳しくは「機械振興会館 バス」で検索できます。ご利用ください。

<http://www.jspmi.or.jp/system/info.php?buid=1&iid=56%22>

主催団体：日本ダイカストマシン工業会

協賛団体：一般社団法人日本ダイカスト協会、日本ダイカスト工業協同組合
一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鋳造協会
公益社団法人日本鋳造工学会、一般財団法人素形材センター（順不同）

＝ お申込の詳細 ＝

- 参加費 主催団体及び協賛団体会員 15,000円 / 非会員 20,000円
※参加費にはテキストと昼食が含まれます。

- 定員 100名（定員に達し次第締切りとさせていただきますのでお早めのお申込みをお待ちしております。）

- 申込方法 別添の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、E-mail に添付またはFAXにてお申込みください。

- 申込締切 平成31年2月28日（木）

- お支払い 平成31年3月1日（金）までに指定の銀行口座へお振込下さい。
※①銀行振込受取書をもって領収書に代えさせていただきます。
②平成31年2月28日以前にお取り消しのご連絡を頂いた場合は参加費は振り込み手数料お客様負担にて返金させていただきます。
③お振込みが期日までに間に合わない場合は必ず振込予定日をご連絡ください。

- 取り消し 平成31年3月1日（金）以降のお取り消しにつきましては上記会費の返金は出来ませんのでご了承下さい。
ご欠席の場合はテキストを後日送付いたします。

<< お申込の流れ >>

1. 申込み用紙にご記入の上、E-mail(jdmma@sokeizai.or.jp) またはFAX (03-3459-6911) にて事務局にお送りください。
↓
2. 申込受付後、参加証と請求書を郵送いたします。
(其々 1週間以内に届かない場合は恐れ入りますがご連絡下さい。)
↓
3. 請求書に記載してある指定口座に参加費のお振込み（平成31年3月1日まで）
↓
4. 当日は参加証をご持参下さい。(受付で回収いたします。)
↓
5. 欠席の場合は後日テキストを郵送いたします。

【主催】 日本ダイカストマシン工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 301 一般財団法人素形材センター内

TEL: 03-6809-1509 FAX: 03-3459-6911 アドレス: jdmma@sokeizai.or.jp

お問合せ受付時間 10:00～16:00（土日祝日休み） 担当: 長岡、本間

第19回 日本ダイカストマシン工業会 技術セミナープログラム — ダイカスト製造と設備に係る最新技術 —

日 付：平成31年3月15日（金）

時 間：10:00～16:25

会 場：機械振興会館 6階66-67号室

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

<プログラム>

1. 開会挨拶	日本ダイカストマシン工業会 会長 小池 純（東芝機械株式会社）	10:00～10:05
2. 来賓挨拶	経済産業省 製造産業局 素形材産業室	10:05～10:10
3. 需要動向等	日本ダイカストマシン工業会 技術委員会 委員 山崎政道（株式会社ヒシヌママシナリー）	10:10～10:20
4. 『自動車業界の変革とダイカスト革新への期待』	トヨタ自動車株式会社 鋳造生技部 第3ダイキャスト技術室 室長 長谷川 毅 氏	10:20～11:05
	【内容】 自動車業界は100年に一度の大変革時代に直面している。電動化に伴う異業種参入や労働人口減少の中で生き残る為には素早い商品開発と同時に女性や高齢者がストレスなく働ける製造現場の実現が重要である。日本には欧米発信でも細やかな技術でアレンジする力、材料技術など世界に冠する多くの企業がある。それらが融合すれば世界一の技術が生まれる可能性がある。そんな日本ならではのダイカストの世界を皆さんと一緒に考えたい。	
5. 『新時代のものづくりと金型技術』	株式会社小出製作所 代表取締役社長 小出 悟 氏	11:05～11:50
	【内容】 新時代の方向性はAI・IoT・ロボットの各技術を、ものづくり全体の中で上手く開発し、活用するかにあるといえます。さらにその「ものづくり」も単独の進化ではなく、つながるコネクティド社会でどう発展させるかがカギとなるでしょう。この観点で考えるとこれまでの金型業界はこの種の技術を自らの手では生み出すことが出来ずにいました。今後はこの点を改め、新技術をどう取り入れ活用するのかが真剣に社会から追求されるでしょうし、自らも追求する姿勢にこそ新しい時代が訪れるのであると確信いたします。	
6. 昼食		11:50～12:35
7. 『ダイカストマシン周辺・付帯設備へのロボット活用動向』	株式会社豊電子工業 常務執行役員 成瀬 雅輝 氏	12:35～13:20
	【内容】 製品取出、金型への離型剤塗布、アルミの給湯、方案除去、バリ取りを始めとして、ダイカストマシンの周辺・付帯設備へのロボット活用はすでに幅広く行われてきました。近年においては、溶解エリアの工程改善や工場内の物流自動化を視野に入れたロボットの導入により、ダイカスト分野に新たな地平が切り拓かれようとしています。本発表では、ロボット活用の最新動向について当社の事例を交えながら報告させていただきます。	

8. 『 ダイカストマシンにおける油圧システムの特徴と保全 』

東京計器株式会社

13:20~14:05

油圧制御システムカンパニー 油圧技術部 担当部長 渋谷 文昭 氏

【内容】

ダイカストマシンの油圧は、一般に作動油は水-グリコール型難燃性作動液を使用し、金型への溶湯の高速充填動作にはアキュムレータを用いる等、他の機械と異なります。このダイカストマシンの油圧システムの特徴及び最近の省エネルギー化、機械安全、省スペース化等の対応を紹介する。また、油圧の保全についても述べる。

9. 休憩

14:05~14:15

10. 『 品質向上、原価低減を実現する水溶性原液塗布型離型剤 』

株式会社MORESCO

14:15~15:00

機能材事業部 機能材開発部ダイカスト油剤グループ 富松 宏明 氏

【内容】

ダイカスト casting における離型剤、潤滑剤の役割は様々であり、その形態も時代と共に変化してきている。MORESCO では、そういった様々な要求に応えるべく、関係企業との業務の提携等により、安全で環境に優しい離型剤、潤滑剤の研究、開発に取り組んできた。今回は品質向上、原価低減、更には作業環境の改善を実現する方法として、水溶性原液塗布型離型剤について説明する。

11. 『 自動車用大型構造部材のダイカスト casting 技術 』

宇部興産機械株式会社

15:00~15:40

技術開発部 キャストソリューション Gr. 主席部員 石橋 直樹 氏

【内容】

近年の環境規制強化にて、車体構造部のアルミ化が進展し、リブ構造の複雑形状や複数部品の一体化が可能な、ダイカスト casting 工法の採用機械が急増している。そこで、本稿では自動車用大型構造部材の代表的な製品であり、今後も採用拡大が予測されるショックタワーに着目し、新開発のスリーブ真空技術を適用し、充填時間、昇圧時間、 casting 圧力が溶湯圧力に及ぼす影響や、製品のガス量、機械的性質を調査したので紹介する。

12. 『 ダイカストマシンとネットワークを利用した品質データの活用 』

東芝機械株式会社

15:40~16:20

ダイカストマシン技術部 開発・営業技術担当
グループマネージャー 宇佐見 兵衛 氏

【内容】

ダイカスト製品の生産現場では、比較的古くから品質管理のため casting 時のデータを記録、管理する風土があり、ダイカストマシンも計装化が進められてきた。昨今、IoT が話題になる中、個々のダイカストマシン単位で収集してきたデータを如何に一点に収集し、活用するかが話題となっている。本発表ではダイカストマシンの計装と得られるデータについて、そしてシステムを利用した活用方法を紹介する。

13. 閉会挨拶

日本ダイカストマシン工業会

技術委員会 委員長 池田 伸吾(東洋機械金属株式会社)

16:20~16:25

第19回 日本ダイカストマシン工業会技術セミナー参加申込書

(平成31年3月15日(金)開催 場所:機械振興会館)

主催:日本ダイカストマシン工業会 行

E-mail: jdmma@sokeizai.or.jp

FAX: 03-3459-6911

締切:平成31年2月28日(木)

(定員に達し次第締切りとさせていただきますのでお早めのお申し込みをお待ちしております。)

↓太枠にご記入頂いた参加者様宛てに参加者全員分の参加証と合算の請求書を郵送します。

会社名			
住所	〒		
電話番号		F A X	
ふりがな 参加者氏名			
所属			
役職			
E-mail			

上記 参加者以外の 氏名	所属・役職

所属する団体に ○印を付けて ください。 =会費= 会 員 15,000 円 非会員 20,000 円	<input type="checkbox"/>	日本ダイカストマシン工業会
	<input type="checkbox"/>	(一社) 日本ダイカスト協会
	<input type="checkbox"/>	日本ダイカスト工業協同組合
	<input type="checkbox"/>	(一社) 日本自動車部品工業会
	<input type="checkbox"/>	(一社) 日本鑄造協会
	<input type="checkbox"/>	(公社) 日本鑄造工学会
	<input type="checkbox"/>	(一財) 素形材センター
	<input type="checkbox"/>	非会員
備考	お振込み予定日がお分かりになる場合はご記入ください 平成 年 月 日振込予定	

<個人情報の保護法に関する対応>

本セミナーでご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関わる目的にのみ使用し、他の目的には使用いたしません。